

入場無料

(整理券が必要です)

**この若者たちの
躍動するパフォーマンスを
見逃すな!**

箏・三味線・尺八が織りなす和の心

SANKYOKU²⁰¹⁵

～若き名手・和の継承～

会場

平成27年 **11月15日(日)**
佐野市文化会館 大ホール

開場 13:30 / 開演 14:00

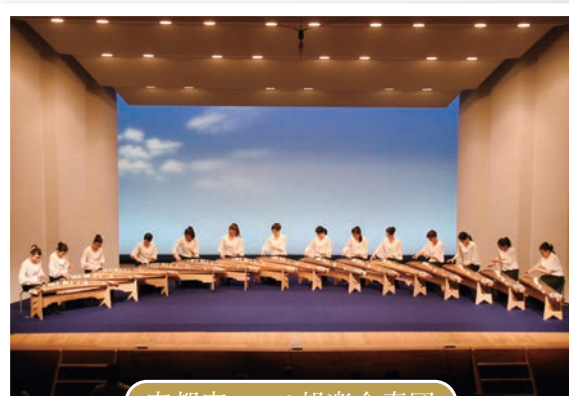
休憩 10分から15分 / 終演 16:15 予定

※未就学児の入場は
固くお断りいたします。

第25回(2015年) 本條秀慈郎 出光音楽賞受賞「写真右端」



邦楽ゾリスデン



宇都宮ユース邦楽合奏団

【主催】 佐野市文化会館 / SANKYOKU公演実行委員会(うつのみや文化創造財団)
【後援】 佐野市 / 佐野市教育委員会 / 佐野市文化協会 / 公益財団法人佐野市民文化振興事業団
朝日新聞宇都宮総局 / 下野新聞社 / とちぎテレビ / 栃木放送 / 栃木よみうり / RADIO BERRY
【協力】 トールツリー(株式会社ケイミックス) 
【企画制作】 公益財団法人うつのみや文化創造財団 【お問合せ】 佐野市文化会館 TEL0283(24)7211

企画内容に関するお問合せ
宇都宮市文化会館
(うつのみや文化創造財団)
TEL028(636)2125



邦楽ゾリスデン

吉澤延隆、福田智久山、本條秀慈郎、前川智世、津野田智代の5人による箏・三味線・尺八のアンサンブルグループ。本格的な古典曲から新作までをレパートリーとし、近年では邦楽普及を目的とした公演やワークショップ活動等を行っている。

【主な活動歴】

- 2010年 邦楽ゾリスデン結成/日光田母沢御用邸記念公園秋の音楽祭「邦楽ゾリスデンコンサート」出演
- 2011年 栃木県議会開会演奏会にて栃木県交響楽団と共演/さくら市ミュージアム～荒井寛方記念館～開館18周年記念「箏曲コンサート-和の美-」出演/「東日本大震災復興特別コンサート」出演(主催:千代田区)/「東レバン・パシフィック・オープンテニストーナメントプレーヤーズレセプション」歓迎演奏を担当
- 2012年 「宇都宮ユース邦楽合奏団《邦楽ゾリスデン》演奏会」(主催:(公財)うつのみや文化創造財団) 出演/「みやび、百人一首フェスタ」出演(主催:うつのみや百人一首市民大会実行委員会 他)/「第8回学生邦楽フェスティバル」ゲスト出演(主催:宇都宮市・宇都宮市教育委員会・(公財)うつのみや文化創造財団)/「邦楽ゾリスデンコンサート2012」(主催:音楽の街 宇都宮をつくる会)出演/ワークショップ「邦楽を知る」(主催:(公財)うつのみや文化創造財団)/「楽しいワークショップ～古典から現代曲まで～」(主催:(財)とちぎ未来づくり財団)
- 2013年 「宇都宮ユース邦楽合奏団《邦楽ゾリスデン》演奏会」(主催:(公財)うつのみや文化創造財団)出演/さいたま市中央区区制施行10周年記念事業「蔵のまちコンサート」出演
- 2014年 「宇都宮ユース邦楽合奏団《邦楽ゾリスデン》演奏会」(主催:(公財)うつのみや文化創造財団)出演
- 2015年 「和の都 宇都宮 アートフェスト」(主催:和の都宇都宮実行委員会)出演/「宇都宮ユース邦楽合奏団《邦楽ゾリスデン》演奏会」(主催:(公財)うつのみや文化創造財団)出演/「邦楽ゾリスデンコンサート2015」(主催:音楽の街 宇都宮をつくる会)出演【メディア出演】 NHK-FMラジオ「邦楽のひとつとき」出演/CRT栃木放送「土曜ちやっかり亭」出演/とちぎテレビ「雷様剣士ダイジ」出演



Photo by Kouichi Mori

吉澤 延隆 (箏・十七絃) *Nobutaka Yoshizawa*

7歳より和久文子に師事。東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修士課程修了。在学中より福永千恵子に師事し、2006年文化庁新進芸術家国内研修制度研修員に採用。08年第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて第一位・賢順賞を受賞。NHK-TV芸能花舞台「今かがやく若手たち」に出演し、全国放送が好評を得る。11年宇都宮市より第10回「宇都宮エスペール賞」を受賞。近年の活動は、飛鳥IIワールドクルーズの船上公演、(一財)地域創造による「邦楽活性化事業(富山県)」のアウトリーチなどコンサートから地域連携プログラムまで多岐にわたるほか、CD「KOTO Nobutaka Yoshizawa」もリリース。

公式ウェブサイトは <http://www.nobutaka-yoshizawa.com>



福田 智久山 (尺八) *Chikuzan Fukuda*

人間国宝、山本邦山に師事。現在、山本真山に師事。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」で高校、及び県内の小、中学校の「ふれあい文化教室」、「邦楽スクールコンサート」で講師を務める。また、立志式にて講演。文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業「楽しい音楽講座」・「伝統文化子ども教室」等、尺八講師。新潟市ジュニア邦楽合奏団にて尺八賛助演奏。海外公演も多く、スペイン・マドリッド市「白夜祭」に招聘演奏。国際交流基金により2008年「ブラジル移民百年祭」にて四都市公演。2010年ペルー、エクアドル共和国にて、全8公演。邦山会所属、日光観光大使、(公財)都山流尺八楽会員、日本三曲協会会員、栃木三曲協会会員、宇都宮文化協会会員、邦楽ゾリスデン所属。



本條 秀慈郎 (三味線) *Hidejiro Honjoh*

本條流家元本條秀太郎氏に師事し本條秀慈郎の名を許される。津軽三味線を長谷川裕翔に、桐朋学園大学短期大学部で三味線を故杵屋勝芳壽の各氏に師事。現代邦楽研究所(所長:西瀧昭子)修了。現在桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。第2回東京邦楽コンクール第1位。第11回現代音楽演奏コンクール「競楽XI」第3位。長谷記念第21回くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞。第25回出光音楽賞。第12回宇都宮エスペール賞を受賞。2010年日本現代音楽協会主催「コンチェルトの夕べ」2013年TWS主催「一柳慧プロデュース公演「Avanti!」室内アンサンブル×本條秀慈郎」2015年東京オペラシティ財団B→Cに出演。2016年AccのNakamura Kimpeiフェローシップによりニューヨークへ渡米。これまでに4回のリサイタルを開催し、演出家 蛭川幸雄氏より「繊細で、時に強烈しいその演奏は深い感動を呼び起こす」と評される。委嘱活動を主に三味線の新しい作品を追求し続けている。ケアルテット・エクセルシオ、野坂操壽、佐藤紀雄、Ensemble NOMAD、山下一史、桐朋学園オーケストラ、カリ・クリューク、"Avanti!"室内アンサンブルと共演。本條流穹の会。チェロ奏者 佐藤翔氏と「弦の織り縫い」現代クリエイショングループ「淡座」邦楽ゾリスデン所属。



前川 智世 (箏・三絃・十七絃) *Tomoyo Maekawa*

8歳より宇都宮市立石井小学校こども部にて箏を始め、和久文子に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部邦楽科・同大学大学院修士課程音楽研究科修了。在学中、常英賞受賞。2013年、長谷校校記念第19回くまもと全国邦楽コンクールにて最優秀賞受賞。文部科学大臣賞受賞。NHK邦楽オーディションに合格し、「邦楽のひとつとき」に出演。NHK-Eテレ「にっぽんの芸能」に出演。2014年、宇都宮市よりうつのみや市民賞受賞。同市より「宇都宮愉快市民」に任命。同年、「前川智世箏・三絃リサイタル」を開催。ワークショップ等の講師を務める他、小・中・高校のスクールコンサートにおいて指導補佐としても活動している。沢井箏曲院教師、邦楽ゾリスデンメンバー。



津野田 智代 (箏・三絃) *Tomoyo Tsunoda*

8歳より宇都宮市立石井小学校こども部に入部、和久文子に師事。2001年、ニュージーランドマスカウ市親善訪問。2002年、第20回全国小・中学生箏曲コンクール中学生個人の部にて優良賞受賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学し、卒業時には東京都高等学校文化連盟より表彰を受ける。2006年、第16回全国高校生邦楽コンクールにて第1位(市長賞)受賞。同年うつのみや市民賞受賞。2011年、東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、2009年に宮城賞、2010年に安宅賞受賞。卒業時にアカンサス音楽賞、並びに同声会賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演。2011年より「チャレンジ!ワークショップ」にて講師を務める。2012年、皇居内桃華楽堂にて御前演奏。沢井箏曲院教師試験首席登第、並びに会長賞受賞。



宇都宮ユース邦楽合奏団

2008年、宇都宮市民芸術祭実行委員会では、「次代を担う若手邦楽家の育成」を目的とし、30歳未満を対象とした「宇都宮ユース邦楽合奏団」を結成。和楽器全般（箏・尺八・三味線・篠笛・太鼓）の楽器構成では、栃木県内において初めての合奏団です。構成メンバーの技術の高さから、全国でも非常に注目されています。現在、音楽大学生及び卒業生、またプロフェッショナルで活躍しているメンバーを含め、総勢20名で活動しています。メンバーの中には、各種全国コンクール等で日本一に輝いた者が多数在籍し、個人のソロリサイタル等を含め、幅広く精力的な活動をしています。また、これまでの実績を踏まえ、若手芸術家に贈られる宇都宮エスペール賞に輝いたメンバーもおり、今後の活躍が期待されています。宇都宮市民芸術祭30周年記念事業、ミュージカル公演「みどりの夢」では、栃木県交響楽団、30th anniversary Jazzと演奏を行いました。2011年、「みどりの夢」でも共演した「こどもミュージカル ドリーみんぐ」と共にアメリカ公演を行い、好評を博しました。

● 総合プロデュース



和久 文子 *Fumiko Waku*

箏演奏家である和久文子は、日本屈指の名演奏家、沢井忠夫・一恵両氏に師事し、沢井箏曲院教授・沢井忠夫合奏団トップメンバーとして国内外で活躍している。指導者としても文部科学大臣賞や文化庁長官賞など数々受賞に導き、すぐれた演奏家を輩出している。県内外の小・中・高校においても邦楽スクールコンサートを35年間実施、教育・福祉活動に大きな力を注ぎ、文化庁委嘱・伝統文化子ども教室や、学校芸術家派遣事業等において育成事業を継続している。現在、生涯学習音楽指導員ネットワーク全国代表、宇都宮ユース邦楽合奏団団長を務めるほか、宇都宮大学非常勤講師等、小・中・高校においてのクラブ活動も幅広く指導している。平成15年度 栃木県文化奨励賞受賞。平成16年度 今市市政功労表彰(教育文化)。平成18年度 宇都宮市長特別表彰(学校教育)。

応募方法

ハガキに「郵便番号・住所・氏名・電話番号・
応募人数(できるだけ正確にお願いします)」を記入の上

〒327-0831

佐野市浅沼町508-5 佐野市文化会館
「SANKYOKU公演」係まで

※ 募集期間 平成27年10月1日(木)～
10月31日(土) 当日消印有効

※ 応募多数の場合は抽選となります。
発表は発送をもってかえさせていただきます。

こちらをハガキとしてご使用頂けます。➡

ご記入頂いた個人情報は、SANKYOKU公演の
申込受付のために使用させていただきます。

申込された方の同意なしに業務委託先以外の
第三者に開示提出することはありません。
(法令等により開示を求められた場合を除く)

✂ キーリトリ

※ 以下、必ず明記して下さい

郵便番号【 — 】

住 所：

氏 名：

電話番号：

応募人数【 人】

※ 応募人数はできるだけ正確にお願いします。

※ 応募多数の場合は抽選となります。
発表は発送をもってかえさせていただきます。

出演者からのメッセージ

この“SANKYOKU”には、自分たちの演奏する音楽や楽器も、同じ今を生きていること、決してある時点で留まっているものではなく現在も進行形であり、世界にも開かれているという思いが込められています。多くの皆さまにご来場頂き、“SANKYOKU”の面白さや魅力をお楽しみ頂けたら幸いです。会場でお会いできますこと、今からとても楽しみにしております。

吉澤 延隆

「栃木県から邦楽を!!」のコンセプトのもと、栃木県出身の五人が集まり、より良い音楽を目指し、日々精進しております。また県内では、邦楽ゾリスデン〜智世代〜という三人での活動が多く、こうして五人での活動をより多くの方々にお聴き頂ける事を、心より嬉しく存じます。音楽による「おもてなし」を大切にして、これをお読み頂いております皆様と、会場でお逢いできる事をメンバー一同、楽しみにしております。

福田 智久山



このメンバーで演奏できる幸せと、感謝を持って演奏します。生の醍醐味をお楽しみください。

本條 秀慈郎

「邦楽」の魅力がたっぷり詰まった舞台です!! 古から伝わる音楽から出来たての音楽まで一挙大公開します! 初めて邦楽を聴くという方も是非、お気軽にいらしてください♪ お見逃しなく!!

前川 智世

邦楽と聞くと硬いイメージが強いですが、演奏会を通して少しでも身近に感じて頂けたら嬉しいです。邦楽でもこんなことができるんだ!と思って頂けること、間違いなしです! 是非お待ちしております。

津野田 智代



智世代

↓こちらをハガキとしてご使用いただけます。

〒キ-リ-ト-リ-

郵便はがき

3 2 7 0 8 3 1

恐れ入りますが
52円切手を
お貼り下さい。

佐野市浅沼町508-5
佐野市文化会館

「SANKYOKU」公演 係

※裏面に必要事項記入の上、52円切手を貼りお送りください。

※ご記入頂いた個人情報は、SANKYOKU公演の申込受付のために使用させていただきます。
※申込された方の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示提出することはありません。
(法令等により開示を求められた場合を除く)

ACCESS 【アクセス】

お車の場合

【東武佐野線】

佐野市駅より 約5分

【JR両毛線・東武佐野線】

佐野駅より 約5分

【東北自動車道】

佐野藤岡インターチェンジから 約10分

【北関東自動車道】

田沼インターチェンジから 約15分

公共交通機関の場合

【関東バス】

佐野駅より「佐野市文化会館前」下車
(所要時間 約4分)

関東バス：<http://www.kantobus.co.jp/route/>

●詳しくは…

佐野市文化会館ホームページ

<http://www.sano-culture.jp/index.html>